

表示されていますが、(表示義務のない) 5%未満、エビが使われている加工食品にはどのようなものがありますか? 「スープの素」のような場合でしょうか?

A 1 ⇒ 「えび」「かに」と表現されます。もちろん「イセエビ」「クルマエビ」など種別の表示も可能です。

アレルギー物質の義務表示の基準は5%ではなくて、10マイクログラム/gあるいは10マイクログラム/mLになっています。

5%ルールは遺伝子組換え食品の表示基準だったと思います。

Q 2

・しらすぼしに小エビが混在していることがよくありますが、表示は具体的にどのような形になりますか? (加熱してあると加工食品に該当するように思いますが。) 「入っているかもしれない」表示は禁止されているので、入っているか・入っていないかどちらかにするのでしょうか?

また、しらすぼし使用の「おかゆ」などの場合は絶対に小エビが入らないとはいきれないと思いますが、どう表示されますか?

A 2 ⇒ 「しらす」、「ちりめんじゃこ」には数十マイクログラムエビ抗原が検出されます。これは混獲といって漁の時に小エビやえびの幼生と一緒に採取されることと、捕食といって「しらす(多くがいわし)」がエビの幼生を餌にしているため、消化管に残っているせいです。

また、「すりみ」加工品にもエビ抗原が微量ながら検出されます。これは「すりみ」を製造するとき消化管をはずさない小型魚(タチウオなど)で見られます。すけとうだらのような大型魚は消化管を取り除いてから「すりみ」を製造するため混入してきません。

現在、これらをどのように表示することが適切か検討中です。何らかの形で表示されることになると思います。

エビ特異的 IgE 抗体陽性で、しかも、食べて明らかなアレルギー症状が出るエビアレルギー患者さんで、アンケートにご協力いただける方を募集しています。ご協力して頂けるエビアレルギー患者さんがおられましたらアレルギー支援ネットワークまでご連絡ください。

TEL/FAX : 0564-55-5702

2. 理事のつぶやき 『岡本光生 身近な環境汚染の痕跡』

先日、久しぶりに家事を手伝いました。軒先の樋掃除です。どうも軒樋が詰まっているようで、大雨の度にバシャバシャと大屋根から雨水がまとまって庭に落ちてくるということでした。私自身はその現場を目撃したことはないのですが、家族全員から、やいのやいのの催促でした。庭木の枯葉でも詰まっているのだろうと思いながら、重い腰を上げ、屋根にハシゴをかけて、件の軒樋をのぞき込んで

驚きました。何と、黒い微粒子状のヘドロが固まったような異様な物質が、大量に樋の内側にへばり付いていました。さっそく木ベラを取り出し、何とかきれいに除去することができました。しかし、この物質は一体何なのでしょう。我が家は築約10年になりますが、推察するに、これは空気中に浮遊するチリの類が雨水とともに屋根に降り注ぎ、樋に溜まったものとは考えられません。常日頃、新聞記事等で環境汚染のニュースを見聞きするものの、どこか他人事でしたが、いかに我が国の大気汚染が進んでいるかということ、身近に実感させられてゾッとしました。我が家は都市近郊の新興住宅地の一角にあり、周辺には、いまだ田畑や自然環境が残っていて、スモッグとか自動車の排気ガス汚染からは、無縁だと思っていただけに、ちょっと衝撃的でした。そういえば、ここ数年春先の黄砂被害は深刻でした。今年の春には、雨が降ると庭先の車が度々泥だらけになっていたことを思い出しました。私は毎年春先になると、決まったように「花粉症」の症状がでるのですが、あれは花粉症というよりも花粉が引き金になっただけの、「大気複合汚染症候群」とでもいうべき症状なのかもしれません。アレルギー症状がでるといふことは、人間の身体自身の、人類の活動に対する悲鳴のような警告に違いありません。

3. 歯科材料アレルギー治療の健康保険への適用を その1

菌田 順 (名古屋市名東区・歯科クリニック開業、歯科医師)

私は歯科医師です。歯科材料アレルギー治療にみえた患者さんとともに治療現場というリングで文字通り格闘すること、はや十余年になりました。この間の歯科材料の物質的進化は目を見張ります。

しかしながら、社会制度としての健康保険制度において患者さんへの朗報は全くといえるほどありませんでした。この間に泣いた患者さんは数知れず。

「確かに虫歯作った自分が悪いよ！でも、虫歯だよ…。なぜ健康保険で治療が出来ないの？そんなこと、誰にも、何処でも教えて貰ってない！」

そうです。皆さんが知らないのは当たり前です。

でも、知っていたら、日頃の歯のお手入れ方法を変えたりして、神経をとらざるを得ないところまで虫歯を放置したのでしょうか。

皆さんにもっと知ってもらうように啓蒙を推進するのは重要な要求項目の一つです。

～今月のポイント～

奥歯にアレルギーを起こし難い非金属製の被せ物（クラウン装着）をすることが現状の健康保険ルールでは出来ません。

→ならば、署名運動をして安価に健康保険で出来るように働きかけよう！

皆さんは愛知県保険医協会という団体をご存知ですか？

医師と歯科医師、八千六百名余の会員からなる団体です。

この度、「保険でより良い歯科医療を」というキャンペーンと署名運動を始めようとしています。私は、その内容に

「歯科材料アレルギー患者さんへのよりよい保険医療対応及び予防の対策」

を具体的に求めるべきと、活動をさせていただいております。

今後、皆様とともに上記の内容を提案・実現に向けて、署名運動など、ますます

皆様のお力添えをいただきたく、このメルマガでお伝えしていくつもりです。
皆様のご意見も積極的にお寄せいただければと思います。
よろしく願いいたします。

4. 会員からみなさまへ

はじめまして。二児(長女6歳・長男2歳)の母です。
長女に乳アレルギー、長男にピーナッツアレルギーがあります。
娘のアレルギーについて、私たち夫婦が気付くまでには、時間がかかりました。
アレルギー(血液)検査の数値が低かったことと、たびたび症状に出ていた嘔吐を、
食べすぎによるものと勘違いしていたからです。
症状も症状の出かたも個人差があることを知り、奥深く感じます。
長女は摂取量や濃度による乳アレルギーと診断され、除去食をしています。幼稚園へは、私の作ったお弁当を持たせています。家では、心のケアにできるだけ努めています。
アレルギーについての親の知識の無さが、娘の体を傷めていたかと思うと、今でも胸が痛いです。
今では、アレルギー支援ネットワークの存在が大きく、知識も豊富になり精神的にも安定した自分がいます。さまざまな情報は、とても心強いです。
娘の体内で起こっている症状(体験)を通じて、アレルギーと向き合うようになり夫とは“アレルギー”って自分自身にも起こっていたことのある身近なことだったのかもしれないね。と話し合うことも多くなりました。
これからも、日々勉強していきたいです。よろしく願い致します。

HH より

5. 賛助会員からのメッセージ 『辻安全食品株式会社』

当社はアレルギー食品の製造、販売を行っているメーカーです。アレルギー食品の製造、販売は限られたニーズであるため、少量手作り生産が主流となっています。製造ごとに他の成分混入を防止するため清掃、確認作業に手間がかかり、また特殊な原料を使用しなければならないこともあり、大量生産によるコスト削減が難しく割高になるからです。このような常識を辻安全食品は柔軟な発想と軽快なフットワークを駆使し、さまざまな商品開発から販売にいたるまで一貫して対応しています。食物アレルギーの方の「食べられるものが見つからない」をいう悩みを辻安全食品は解消しています。
主食となる白米、パン、麺類をはじめ、お菓子、調味料、飲物、ベビーフードなどお口に入るものから衣類、洗剤、健康住宅にいたるまでアレルギー除去生活をフルサポートする用品を幅広く揃えています。
また、栄養士による無料相談も行っておりますのでお気軽にご連絡下さい。

フリーダイヤル 0800-8000-399

フリーFAX 0120-987-822

辻安全食品社員のブログ↓
<http://ameblo.jp/tsuji-staff/>

6. 事務局の窓辺から

今年の春から事務局のお手伝いをさせていただいている舟津です。
家族全員アレルギー体質です。現在小1の長女は、生まれてすぐから両ほほが真っ赤のアトピー赤ちゃんでした。除去などをして1歳過ぎにはよくなりその後は冬に乾燥がひどい…といった程度までになったのに幼稚園に入るとき、ステロイドをやめる！という無謀な挑戦をしてしまいました。使わなかった1年間、限界になり再び使い始めた数ヶ月…本当に可愛そうな状態でした。どん底でした。痒みで娘は何度も泣きました。私ももう良くならないかも、と泣きました。それでもたくさんの人たちに支えられなんとかやってこられました。そして漢方薬に出会いました。処方された漢方薬はとても体に合ったようで、数日のうちで今までどうしたって良くならなかった湿疹がうそのように治まりました。
ちょうどそのころアレルギーの会に入り、支援ネットの方たちと出逢いました。でもそのころは漢方薬のあまりの効き目に『うちの子、アトピーという程ではないかも…』と油断しかけていました。でも支援ネットの方たちを見ているうちに『治ったら関係ないと思っていたのは間違いだ、あの経験も何かの役に立つかも！アレルギーが縁で出会ったたくさんの人たちとともに悩みを相談しあい正しい道を進んでいきたい…！！』と思うようになりました。ちょうどそのころ、事務手伝いのお話を頂きました。7年ぶりのお仕事…てきぱきとこなすのはまだまだ先になりそうですが頑張ります！
どうぞよろしく願いいたします。

7. ニュース・エトセトラ

「よりよく食べるはよりよく生きる」市民公開講座
食べることの驚くべき機能、役割が今再認識されています。「よりよく食べる」ためのお口の健康について考える講座です。又、「保険でよりよい歯科医療」を求める意見交流も行います。

と き：11月10（土）、午後3時15分～4時30分
ところ：名古屋市教育館（教育センター分室）2階第8研修室
地下鉄「栄」駅出口10Bより徒歩1分。
（名古屋市中区錦3丁目16番6号 tel 052-961-2541）

講 和：「よりよく食べるはより良く生きる」
講 師：大藪憲治さん（丹羽郡扶桑町あまの歯科クリニック院長）
参加費：無料

*参加の皆さんから歯科医療についてのご意見、ご要望など交流いたします。

（金属）アレルギーの歯科医療などのご意見をお寄せください
アレルギー支援ネットワーク事務局

8. ホームページのお知らせから

12月8・9日(土・日)「日本小児アレルギー学会」/市民公開講座

12月15・16日(土・日)「日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会」/市民公開講座
が開催されます。

各会の会場にて、アレルギー支援ネットワークの展示ブースを出させていただく
事になりましたアレルギー支援ネットワークの展示ブースへぜひお越しください。

詳しくはこちらから↓↓↓

日本小児アレルギー学会/市民公開講座同時開催

http://www.alle-net.com/blog/event/2007/10/post_13.html

日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会/市民公開講座同時開催

<http://www.alle-net.com/blog/event/2007/10/37.html>

9. ボランティア・スタッフ募集

ボランティア・スタッフを募集します

《アレルギー支援ネットワークでは、ボランティア・スタッフを募集しています》

- ・パソコン(ワード、エクセル、アクセス、お絵かきなど)が得意な方
- ・イラストなどを描くのが得意な方
- ・何でもやってみたいなという方
- ・イベント、フェアなどを手伝ってくださる方

まずは、ご連絡ください。お待ちしております。

詳しいことは、事務局までお問い合わせください。

【問い合わせ】NPO 法人アレルギー支援ネットワーク 事務局(担当:中西)

FAX: 0564-55-5702 e-mail: info@alle-net.com

10. アレルギー支援ネットワーク一般会員募集します

《アレルギー支援ネットワークでは、一般会員を募集しています》

詳しくは、<http://www.alle-net.com/>

「支援ネットについて」の「会員の特典・入会書」をお読みください。

【問い合わせ】NPO 法人アレルギー支援ネットワーク 事務局(担当:中西)

FAX: 0564-55-5702 e-mail: nakanishi@alle-net.com

11. メールマガジン無料会員募集します

メールマガジン無料会員とは・・・

メールアドレス(PC、携帯)を登録した方です。

メールマガジン無料会員に「アレルギー支援ネットワーク通信」(仮称)を毎月
1回無料配信します。新鮮な情報を盛りだくさんお届けします。PCにも携帯(一

部、表示できない機種があります)にも配信できます。

また、メールマガジンはその時々ニュースだけでなく、HPに掲載されない、読者の皆様だけへの特別割引などのご案内や、地震・水害などの被災時には、安否確認や支援などの媒体として利用をさせていただきます。

お友達やお知り合いの方にも、是非ご紹介ください。どなたでも無料会員になることができます。

PC、携帯のアドレスをお持ちでなくても、郵送でお届けすることができますので、事務局 TEL/FAX：0564-55-5702 までお問い合わせください。

メールマガジン無料会員登録は HP (<http://www.alle-net.com/>) からどうぞ。『メールマガジン無料会員』をクリック → 『無料会員とは・・・』をお読みいただき、同意をされる場合は、『申し込み』をクリック → 事務局へのメールのフォーマットに記入・送信 → 登録完了！

尚、配信停止もいつでもできます。

▲今後、アレルギー支援ネットワークのメールマガジンを希望されない方は、お手数ですが、件名に「配信停止希望」と書いて
アレルギー支援ネットワーク e-mail：asn-mailmagazin@alle-net.com
(担当：園木) までメールをお送りください。

★メールマガジン配信準備の都合上、配信停止手続きと行き違いでお届けする場合がございますが、ご了承ください。

★メールアドレス変更などは、
アレルギー支援ネットワーク e-mail：asn-mailmagazin@alle-net.com (担当：園木) までお知らせください。

★このメールマガジンのメールアドレスには、返信はできません。ご注意ください。

★メールマガジンに関するお問い合わせは、asn-mailmagazin@alle-net.com までお願いします。

★メルマガの転載について
無断転載・転送を禁じます。アレルギーの会などが活動で使用する場合は、事務局担当(園木)sonoki@alle-net.com までお尋ねください。

★会員のみなさまからのご要望、お便り、アレルギーについての疑問などお寄せください。

NPO 法人アレルギー支援ネットワーク
◇事務局◇ 444-0802 愛知県岡崎市美合町三ノ久保 13-3, 103

▽TEL/FAX : 0564-55-5702

▽E-mail : info@alle-net.com

